

- 高齢者の知能の維持に役立つかー  
10年間の縦断的検討. 日本老年社会科学会第54回大会、2012年6月9日、佐久.
- 20) 下方浩史：老化に影響する遺伝子多型. シンポジウム「論より証拠ー疫学から見た健康長寿のエビデンス」. 第12回日本抗加齢医学会総会、2012年6月24日、横浜.
- 21) 下方浩史：検査基準値の考え方ー医学における正常と異常ーシンポジウム「生活自立を指標とした生活習慣病の検査基準値」. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 22) 大塚礼，加藤友紀，西田裕紀子，丹下智香子，今井具子，安藤富士子，下方浩史：地域在住高齢男女におけるn-3系およびn-6系多価不飽和脂肪酸摂取量と認知機能との関連. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 23) 下方浩史：中高年者の栄養と運動ー長期縦断疫学研究から. シンポジウム「成人向け保健指導とヘルスプロモーション」. 第60回日本教育医学会記念大会、2012年8月26日、筑波.
- 24) 大塚礼，加藤友紀，今井具子，安藤富士子，下方浩史：地域在住中高年男女における年齢群別のDHAとEPA摂取量の推移(10年間). 第59回日本栄養改善学会、名古屋、2012年9月14日.
- 25) 幸篤武，李成喆，小坂井留美，金興烈，安藤富士子，下方浩史：中高年男性における余暇身体活動強度と血清遊離テストステロン濃度の関連. 第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月15日.
- 26) 西田裕紀子，丹下智香子，富田真紀子，坪井さとみ，福川康之，安藤富士子，下方浩史：高齢者における知能と抑うつとの相互関係ー交差遅延効果モデルの検討ー. 日本心理学会第76回大会、川崎、2012年9月11日.
- 27) 李成喆，幸篤武，金興烈，小坂井留美，西田裕紀子，丹下智香子，安藤富士子，下方浩史：地域在住中高齢者の体力が認知機能に及ぼす影響に関する縦断的研究. 第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月14日.
- 28) 小坂井留美，安藤富士子，金興烈，李成喆，幸篤武，下方浩史：運動経験のない中高年者における運動習慣開始の要因. 第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月14日.

- 29) 下方浩史, 健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究、特別講演、第19回日本未病システム学会総会、金沢、2012年10月27日。
- 30) Akinori Nakamura, Takashi Kato. Multimodal Neuroimaging for AD diagnosis - Toward the preclinical detection of Alzheimer disease - Magnetoencephalography International Consortium on Alzheimer's Disease, Madrid, June 13, 2012.
- 31) Ryuichi Takahashi, Kazunari Ishii, Michio Senda, Kengo Ito, Kenji Ishii, Takashi Kato, Morihiro Sugishita, Ryozo Kuwano, Takeshi Iwatsubo, Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI). Effects of ApoE epsilon 4 on Regional Cerebral Amyloid Deposition and Glucose Metabolism in Amnesic Mild Cognitive Impairment with Amyloid Pathology Confirmed by PiB PET: Results from J-ADNI. Alzheimer's Association International Conference (AAIC 2012), Vancouver, British Columbia, Canada, July 14-19, 2012
- 32) Kazunari Ishii, Ryuichi Takahashi, Michio Senda, Kengo Ito, Kenji Ishii, Takashi Kato, Morihiro Sugishita, Takeshi Iwatsubo, Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI). Differences in Regional Cerebral Glucose Metabolism between PiB Positive and Negative Amnesic Mild Cognitive Impairment: Results from J-ADNI. Alzheimer's Association International Conference (AAIC 2012), Vancouver, British Columbia, Canada, July 14-19, 2012
- 33) Takashi Kato, Kengo Ito, Ken Fujiwara, Akinori Nakamura, Yutaka Arahata, Yukihiro Washimi, and SEAD-J Study Group. Association of cognitive decline with cerebral metabolism and education in amnesic MCI: Implications for the Cognitive Reserve Hypothesis. Alzheimer's Association International Conference (AAIC 2012), Vancouver, British Columbia, Canada, July 14-19, 2012
- 34) 伊藤健吾、藤原謙、加藤隆司。-ADNI と US-ADNI の差が機種差に起因する可能性について第3回島津 PET ユーザーズミーティング、2012年9月2日、松本

- 35)加藤隆司, 藤原 顕, 山田貴史, 中村昭範, 伊藤健吾, SEAD-J Study Group, CRSEAD-J における教育年数と認知機能低下に関する検討: 認知予備能仮説の観点から. 第 52 回日本核医学会学術総会 日時: 2012 年 10 月 11-13(12)日, ロイトン札幌, 札幌市
- 36)加藤隆司, 藤原 顕, 山田貴史, 中村昭範, 伊藤健吾, SEAD-J Study Group, CR 健忘型 MCI における認知予備能と認知機能低下, 脳糖代謝, 局所脳萎縮に関する検討, 第 31 回日本認知症学会学術集会, 日時: 2012 年 10 月 26-28(26)日, つくば国際会議場 つくば市
- 37)岩田香織, 加藤隆司, ディアース ケアステン, 加藤公子, 倉坪和泉, 藤原 謙, 牛鼻健二新畑豊, 伊藤健吾, 中村昭範. fMRI による Default mode network の functional connectivity と、FDG-PET による脳局所ブドウ糖代謝の関連, 第 52 回日本核医学会学術総会 日時: 2012 年 10 月 11-13(11)日, ロイトン札幌, 札幌市
- 38)太田誠一郎, 加藤隆司, 二橋尚志, 藤原 謙, 山田貴史, 外山 宏, 片田和広, 伊藤健吾, Study Group, SEAD-J における教育年数と認知機能低下に関する検討: 認知予備能仮説の観点から. 第 52 回日本核医学会学術総会 日時: 2012 年 10 月 11-13(11)日, 第 52 回日本核医学会学術総会, ロイトン札幌, 札幌市
- 39)深谷直彦, 加藤隆司, 野原孝司, 伊藤健吾, 撮像, 画像再構成条件の違いが, 3D-SSP の Z 画像におよぼす影響の検討. 第 52 回日本核医学会学術総会, 日時: 2012 年 10 月 11-13(11)日, ロイトン札幌, 札幌市
- 40)田島稔久, 林 絵美, 日比野新, 飯田昭彦, 加藤隆司, 伊藤健吾, PiB アミロイド PET 画像解析における Motion Correction の効果. 第 52 回日本核医学会学術総会, 2012 年 10 月 11-13(12)日, ロイトン札幌, 札幌市
- 41)加藤公子, 加藤隆司, 倉坪和泉, 岩田香織, 山岸未沙子, 新畑豊, 伊藤健吾, MULNIAD study group, 中村昭範, 詳細な神経心理学的検査による前臨床期のアルツハイマー病検出の可能性, 第 31 回日本認知症学会学術集会, 日時: 2012 年 10 月 26-28 (27)日, つくば国際会議場 つくば市
- 42)中村昭範, 加藤隆司, 井狩彌彦, 千田道雄, 石井一成, 石井賢二, J-ADNI study group, 伊藤健吾,

認知症の多施設共同研究をサポートする「ネット画像カンファレンスシステム」の開発，第31回日本認知症学会学術集会，日時：2012年10月26-28(26)日，つくば国際会議場 つくば市

43)藤原謙，加藤隆司，山田貴史，中村昭範，伊藤健吾，SEAD-J Study Group，MCIにおける灰白質萎縮と糖代謝の神経心理的機能との関連，第52回日本核医学会学術総会日時：2012年10月11-13(11)日，ロイトン札幌，札幌市

44)藤原謙，加藤隆司，石井賢二，石井一成，千田道雄，伊藤健吾，J-ADNI. J-ADNI被験者の登録時区分によるFDG-PETの比較，第31回日本認知症学会学術集会，日時：2012年10月26-28(26)日，つくば国際会議場 つくば市

45)岩田香織，加藤隆司，ディアースケアステン，加藤公子，倉坪和泉，藤原謙，新畑豊，伊藤健吾，MULNIAD study group，中村昭範，Default mode networkのfunctional connectivityと局所脳糖代謝との相関，第31回日本認知症学会学術集会，日時：2012年10月26-28(27)日，つくば国際会議場 つくば市

46)加藤隆司．画像コメンテータ（核

医学の立場から）症例検討「認知症診療を進める上での診療科別のポイント」，第28回ブレイン・ファンクション・イメージング・カンファレンス 2012年9月8日ポートピアホール 兵庫県神戸市

47)文堂昌彦，加藤隆司，簗野健太郎，中村昭範，中坪大輔，伊藤健吾．11C-PIB PETを用いた突発性正常圧水頭症とアルツハイマー病の合併に関する研究．第31回日本認知症学会学術集会，日時：2012年10月26-28(26)日，つくば国際会議場 つくば市

48)新畑豊，鷺見幸彦，武田章敬，山岡朗子，辻本昌史，川合圭也，桜井孝，文堂昌彦，加藤隆司，伊藤健吾．血管性認知症とアルツハイマー病との識別およびco-morbidityに関する検討．第31回日本認知症学会学術集会，日時：2012年10月26-28(27)日，つくば国際会議場 つくば市

49)加藤隆司，岡村信行，藤原 顕，伊藤健吾，千田道雄，石井賢二，石井一成，J-ADNIスタディグループ．[C-11]BF-227の集積判定方法についての検討．PETコア連絡会議 日時：2011年2012年11月15日 株式会社マイクロン東京本社会議室，東京都千代田区丸の内3-8-1 住友不動産丸の内ビル2階

- 50)加藤隆司, 伊藤健吾, 大脳白質病  
変と運動機能, 認知機能との関連  
に関する検討. 厚生労働科学研究  
費 -介護予防プログラム開発に  
関する研究(24140101)- 島田班班  
会議 2012年12月12日 国立長  
寿医療研究センター, 愛知県大府  
市
- 51)加藤隆司, 岡村信行, 藤原 顕,  
伊藤健吾, 千田道雄, 石井賢二,  
石井一成, 桑野良三, 岩坪 威,  
J-ADNI スタディグループ,  
[C-11]BF-227 の集積判定方法につ  
いての検討. バイオマーカーによる  
検証. 第9回PETコア拡大分科会  
日時: 2011年12月22日 ベルサ  
ール八重洲, 東京都中央区
- 52)久保田進子. 音楽の効用. 第2回東  
海相談学会例会, 名古屋, 2012年9  
月29日.
- 53)Shimada H. Non-pharmacological  
therapy for MCI: a rct of exercise  
and cognitive stimulation. The  
20th IAGG World Congress of  
Gerontology and Geriatrics,  
Seoul, Korea, June 25, 2013.
- 54)Suzuki T, Yoshida D, Makizako  
H, Park H, Lee S, Shimada H.  
Intervention trial for prevention  
of cognitive decline among the  
community elderly in japan. The  
20th IAGG World Congress of  
Gerontology and Geriatrics,  
Seoul, Korea, June 25, 2013.
- 55)Suzuki T, Shimada H, Suzukawa  
M, Makizako H, Tsutsumimoto K,  
Anan Y, Doi T, Yoshida D,  
Uemura K, Ito T, Lee S, Park H.  
National study of  
performance-based assessments  
and personal care in Japanese  
older people. The 20th IAGG  
World Congress of Gerontology  
and Geriatrics, Seoul, Korea,  
June 25, 2013.
- 56)Doi T, Shimada H, Makizako H,  
Park H, Lee S, Tsutsumimoto K,  
Uemura K, Yoshida D, Anan Y,  
Ito T, Suzuki T. Apolipoprotein E  
and Physical Function among  
Older People with Mild Cognitive  
Impairment. The 20th IAGG  
World Congress of Gerontology  
and Geriatrics, Seoul, Korea,  
June 25, 2013.
- 57)Tsutsumimoto K, Doi T, Shimada  
H, Makizako H, Yoshida D, Anan  
Y, Uemura K, Lee S, Park H,  
Suzuki T. Self-reported  
Exhaustion among Older Adults  
with Mild Cognitive Impairment;  
Physical Function, Physical  
Activity Life Space. The 20th  
IAGG World Congress of  
Gerontology and Geriatrics,  
Seoul, Korea, June 26, 2013.

- 58) Doi T, Shimada H, Makizako H, Tsutsumimoto K, Uemura K, Anan Y, Nakakubo S, Suzuki T. Gait Ability and Cognitive Function Among Older Adults With Mild Cognitive Impairments. Alzheimer's Association International Conference 2013, Boston, USA, July 13-18, 2013.
- 59) 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 堤本広大, 上村一貴, 朴眩泰, 李相侖, 吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 軽度認知障害を有する高齢者における dual-task 歩行能力と前頭前野内の灰白質. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.
- 60) 堤本広大, 土井剛彦, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 吉田大輔, 上村一貴, 阿南祐也, 伊藤忠, 李相侖, 朴眩泰, 鈴木隆雄. グループ単位の運動介入実施により軽度認知障害を有する高齢者の QOL は向上するのか? —ランダム化比較試験による検討—. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.
- 61) 上村一貴, 大矢敏久, 東口大樹, 高橋秀平, 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 内山靖. 軽度認知障害高齢者では選択的注意課題に対するステップ反応分析で転倒リスクが顕在化する. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.
- 62) 李相侖, 島田裕之, 朴眩泰, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, 吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 軽度認知障害を有する高齢者を対象とした社会活動の検討. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.
- 63) 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, Brach Jennifer, 朴眩泰, 李相侖, 鈴木隆雄. 日本語版—改訂 Gait Efficacy Scale の信頼性および妥当性. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.
- 64) 波戸真之介, 林悠太, 石本麻友子, 今田樹志, 小林修, 秋野徹, 鈴木芽久美, 島田裕之. 要介護高齢者における認知機能の低下が運動機能の変化に及ぼす影響の検討. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.
- 65) 石本麻友子, 林悠太, 鈴木芽久美, 波戸真之介, 今田樹志, 小林修, 秋野徹, 島田裕之. 世帯構成からみた要介護高齢者の心身機能の特徴. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名

古屋, 2013 年 5 月 25 日.

66) 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 吉田大輔, 堤本広大, 阿南祐也, 上村一貴, 伊藤忠, 朴眩泰, 李相侖, 鈴木隆雄. 高齢者における脳由来神経栄養因子の加齢変化と認知機能との関係. 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

67) 朴眩泰, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, 李相侖, 吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 軽度認知障害を有する高齢者における睡眠と日常身体活動との関連. 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

68) 秋野徹, 波戸真之介, 鈴木芽久美, 林悠太, 石本麻友子, 今田樹志, 小林修, 島田裕之. 要介護高齢者の介護度の悪化に影響を及ぼす要因の検討～4212 名を対象とした 2 年間の追跡調査～. 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

69) 波戸真之介, 鈴木芽久美, 林悠太, 石本麻友子, 石井宏二, 島田裕之. 要支援高齢者と軽度要介護高齢者の判別に影響を与える要因. 第 8 回日本応用老年学会大会, 札幌, 2013 年 11 月 9 日.

70) 大菅陽子, 吉田正貴, 安藤富士子, 下方浩史: 頸動脈超音波検査は 4 年後の夜間頻尿を予測できるか. 第 101 回日本泌尿器科学会総会, 札幌, 2013 年 4 月 25 日.

71) 大菅陽子, 吉田正貴, 下方浩史, 安藤富士子: メタボリック症候群構成要素が下部尿路症状 (LUTS) の発生に与える影響についての検討－4 年間の縦断的研究－. 第 26 回日本老年泌尿器科学会, 横浜, 2013 年 5 月 17 日.

72) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 石黒直樹, 安藤富士子, 下方浩史: ロコチェックの陽性項目による意義・有用性の検討－陽性高頻度 3 項目の運動機能評価の比較－. 第 86 回日本整形外科学会学術総会, 広島, 2013 年 5 月 24 日.

73) 竹村真里枝, 松井康素, 原田敦, 石黒直樹, 安藤富士子, 下方浩史: 一般地域住民におけるロコモティブシンドロームの疫学的検討. 第 86 回日本整形外科学会学術総会, 広島, 2013 年 5 月 24 日.

74) 大塚礼, 下方浩史: 中高年者の多価不飽和脂肪酸摂取と知能・認知機能に関する長期縦断疫学研究. 第 67 回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

- 75) 安藤富士子、西田裕紀子、丹下智香子、加藤友紀、大塚礼、下方浩史：知能の加齢変化における喫煙とカロテノイドの交互作用－8年間の縦断データの解析－. 第55回日本老年医学会学術集会、大阪、2013年6月5日.
- 76) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、安藤富士子、下方浩史：高齢者運動機能評価法としてのロコモティブシンドロームチェック項目（ロコチェック）の有用性の検討. 第55回日本老年医学会学術集会、大阪、2013年6月5日.
- 77) 大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：60歳以上男女での血清DHA、EPA濃度と10年後の認知機能低下との関連. 第55回日本老年医学会学術集会、大阪、2013年6月5日.
- 78) 佐竹昭介、下方浩史、千田一嘉、近藤和泉、鳥羽研二：基本チェックリストの質問領域と健康障害発生の関連性. 第55回日本老年医学会学術集会、大阪、2013年6月5日.
- 79) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、下方浩史：成人中・後期における「死」に関する思索経験の縦断的検討. 第55回日本老年社会科学大会、大阪、2013年6月6日.
- 80) Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H: Effects of Knee Extensor Muscle Strength on the Incidence of Osteopenia and Osteoporosis after Six Years. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 27, 2013.
- 81) Satake S, Shimokata H, Senda K, Kondo I, Toba K; The predictive validity of the Kihon Checklist for identifying frailty in a community-dwelling older population. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 27, 2013.
- 82) Ando F, Nishita Y, Tange C, Otsuka R, Kato Y, Imai T, Shimokata H: The Effects of Carotenoid Intakes on Intelligence in Community-dwelling Japanese Middle-aged and Elderly. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 25, 2013.
- 83) Lee S, Yuki A, Kozakai R, Nishita Y, Tange C, Kim H, Ando F,



- Shimokata H: The Relationship between Light-Intensity Physical Activity and Cognitive Function in a Community-Dwelling Elderly Population : An 8-year longitudinal study. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seoul, June 25, 2013.
- 84) Shimokata H, Ando F, Kuzuya M: Hidden obesity and risk of life-style related disease in the elderly Japanese. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seoul, June 26, 2013.
- 85) 大塚礼、加藤友紀、安藤富士子、下方浩史：血清 DHA、EPA 濃度に対する性、年齢、生活習慣等の影響 ～中高年男女における検討～．第 49 回日本循環器病管理予防学会、金沢、2013 年 6 月 14 日．
- 86) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、幸篤武、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高齢者における膝関節変形と身体組成との関連．第 5 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、札幌、2013 年 6 月 21 日．
- 87) Uchida Y, Sugiura S, Yasue M, Ando F, Nakashima T, Shimokata H: The association between hearing loss and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population. The 20th IFOS World Congress, Seoul, June 3, 2013.
- 88) Yuki A, Otsuka R, Kozakai R, Ando F, Shimokata H: Low free testosterone levels are associated with loss of appendicular muscle mass in Japanese community-dwelling women. The 18th annual Congress of the ECSS, Barcelona, June 29, 2013.
- 89) Kozakai R, Ando F, Kim HY, Lee SC, Yuki A, Shimokata H: Factors leading to regular exercise in community-living middle-aged and older people without regular exercise experience. The 18th annual Congress of the ECSS, Barcelona, June 29, 2013.
- 90) 堀川千賀、大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：血中必須脂肪酸と短期記憶に関する大規模地域住民での縦断的研究．第 9 回必須脂肪酸と健康研究会．大阪、2013 年 8 月 2 日．
- 91) 安藤富士子、加藤友紀、今井具子

- ，大塚礼，下方浩史：カロテノイド摂取が知能の加齢変化に及ぼす影響－地域在住中高年者を対象とした8年間の縦断研究－．第60回日本栄養改善学会学術総会、神戸、2013年9月14日．
- 92)幸篤武、安藤富士子、小坂井留美，大塚礼，下方浩史：アンドロゲン受容体遺伝子多型とテストステロンの相互作用が中高齢男性の筋量に与える影響．第68回日本体力医学会大会、東京、2013年9月21日
- 93)小坂井留美、安藤富士子、金興烈，幸篤武，大塚礼，下方浩史：中高年期における握力の縦断変化の性差．第68回日本体力医学会大会、東京、2013年9月22日．
- 94)今井具子、大塚礼，加藤友紀，安藤富士子，下方浩史：経時的に見た地域在住中高年者の栄養補助食品利用状況．第60回日本栄養改善学会学術総会、神戸、2013年9月14日．
- 95)富田真紀子、西田裕紀子，丹下智香子，大塚礼，安藤富士子，下方浩史：中高年者のワーク・ファミリー・バランスと心理的 well-being の関連．日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月20日．
- 96)西田裕紀子、丹下智香子，富田真紀子，大塚礼，安藤富士子，下方浩史：高齢者における知能と認知的余暇活動の相互関係．日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月20日．
- 97)丹下智香子、西田裕紀子，富田真紀子，大塚礼，安藤富士子，下方浩史：成人中・後期における「死に対する態度」の縦断的検討．日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月19日．
- 98)Shimokata H: A longitudinal study of frailty and aging in Japan. Symposium: Frailty in the older people: dynamic perspectives. The 9th Congress of the European Union Geriatric Medicine Society, Venice, Italy, October 4, 2013.
- 99)下方浩史：高齢社会の現状と問題点．プレナリーセッション耳鼻咽喉科医と高齢社会．第27回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会、名古屋、2013年11月16日．
- 100)大菅陽子、吉田正貴，下方浩史，大塚礼，安藤富士子：地域在住の中高齢者における総身体活動量と4年後の夜間頻尿発生との関連についての検討．第63回日本泌尿器科学会中部総会、名古屋、

2013年11月29日.

101) 加藤友紀、大塚礼、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者のプロリン摂取量が知能に及ぼす影響に関する縦断的研究．第20回日本未病システム学会学術総会、東京、2013年11月10日．

102) 下方浩史：夢を語り、夢を目指して生きる－健康長寿の秘訣．第22回トータルライフ医療学術集会、東京、2013年12月14日．

103) 伊藤健吾 .SEAD-Japan と J-ADNI の進捗．日本脳神経核医学研究会脳PETワークショップ、2013年4月11日、横浜

104) 伊藤健吾．もの忘れセンターにおける画像診断の実践と最新情報

105) 第2回沖縄認知症ネットワーク研究会、2013年5月11日、那覇

106) 文堂昌彦 加藤隆司 中村昭範 澤戸稚保美 岩田香織 中坪大輔 伊藤健吾．特発性正常圧水頭症におけるβアミロイド蓄積と臨床症状．第72回日本脳神経外科学会学術総会、2013年10月18日、横浜

107) Yamaguchi H, Kuroda Y, Yamada T, Ikenuma H, Abe J, Ito K, Takahashi K. "Study on derivatives of benperidol as imaging tracer for dopamine D3 receptor" The 20th International Symposium on Radiopharmaceutical Sciences (ISRS), Jeju Korea, 12-17 May, 2013

108) Fujiwara K, Kato T, Ito K, Michio Senda, Kenji Ishii, Kazunari Ishii, Takeshi Iwatsubo, Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI). Correction of scanner differences in multi-center J-ADNI and US-ADNI PET studies. Alzheimer's Association International Conference 2013, Sunday, July 14, Boston, Massachusetts

109) Kato T, Fujiwara K, Okamura N, Ito K, Ishii K, Ishii K, Kuwano R, Senda M, Iwatsubo T, J-ADNI study group. Image interpretation method of [C-11]BF-227 amyloid PET in J-ADNI, Alzheimer's Association International Conference 2013, Monday, July 13-18(15), 2013, Boston, Massachusetts, United States

- 110) Ishii K, Ryuichi R, Matsuda H,, Senda M , Ito K , Ishii K, Kato T, Kuwano R , Sugishita M, Iwatsubo T , Effects of APOE-ε4 on regional cerebral amyloid deposition and gray matter atrophy in mild cognitive impairment with PiB-PET-confirmed amyloid pathology: Results from J-ADNI. Alzheimer's Association International Conference 2013, Monday, July 13-18, 2013, Boston, Massachusetts, United States
- 111) Nihashi T, Terasawa T , Mishima T , Ando Y , Kawai H, Kato T , Ito K , Imaging and cerebrospinal fluid (CSF) biomarkers for differentiating dementia with Lewy bodies (DLB) from Alzheimer's disease (AD): A meta-analysis of test performance, Alzheimer's Association International Conference 2013, Monday, July 13-18, 2013, Boston, Massachusetts, United States
- 112) 山岸未沙子、加藤隆司、倉坪和泉、岩田香織、加藤公子、新畑豊、伊藤健吾、MLNIAD study group、中村昭範 Alzheimer 病および軽度認知障害における「顔」記憶機能の評価。日本認知心理学会第 11 回大会, 2013 年 6 月 29 日, 茨城
- 113) 伊藤健吾. シンポジウム 1 多施設共同研究の現状「認知症に関する多施設共同研究の現状」第 29 回 BFIC, 2013 年 9 月 7 日, 神戸
- 114) 倉坪和泉・加藤隆司・加藤公子・山岸未沙子・伊藤健吾・中村昭範 . 高齢者における認知機能と年齢,教育年数との関係. 第 37 回日本神経心理学会総会, 平成 25 年 9 月 12 日, 札幌市
- 115) 加藤隆司 アミロイド・イメージング -そのインパクトと最近の状況- パネルディスカッション I :ここが知りたい認知症の画像診断, 第 49 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2013 年 10 月 12-14(13)日 名古屋国際会議場 名古屋市
- 116) 伊藤健吾. 研修医セミナー 期待が集まる脳 PET—認知症への応用— 第 49 回日本医学放射線学会秋季臨床大会、2013 年 10 月 14 日、名古屋
- 117) 加藤隆司, J-ADNI における PET データの評価, シンポジウ

- ム 2「J-ADNI2013」, 第 32 回認知症学会学術集会 2013 年 11 月 8-10(8)日, 長野県松本文化会館 (キッセイ文化ホール)、長野県松本市
- 118) 文堂昌彦 加藤隆司 中村昭範 澤戸稚保美 岩田香織 中坪大輔 伊藤健吾.  $\beta$  アミロイドが蓄積した特発性正常圧水頭症とアルツハイマー病の比較. 第 32 回日本認知症学会学術集会, 2013 年 11 月 8 日, 松本
- 119) 倉坪和泉・加藤隆司・加藤公子・山岸未沙子・岩田香織・新畑豊・伊藤健吾・中村昭範. 高齢者認知機能と年齢, 教育年数との関係: その変動病態の検討. 第 32 回日本認知症学会学術集会, 平成 25 年 11 月 8 日~11 月 10 日, 松本
- 120) 加藤公子, 加藤隆司, 山岸未沙子, 倉坪和泉, 岩田香織, 新畑豊, 伊藤健吾, 中村昭範, MULNIAD study group. 視空間ワーキングメモリ課題による前臨床期のアルツハイマー病検出の可能性. 第 32 回日本認知症学会学術集会, 2013 年 11 月 9 日, 松本
- 121) 伊藤健吾. 技師教育講演 3 核医学のエビデンス構築のためにやるべきこと. 第 33 回日本核医学技術学会総会学術学会, 2013 年 11 月 9 日, 福岡
- 122) 山岸未沙子, 中村昭範, 加藤隆司, 加藤公子, 倉坪和泉, 岩田香織, 新畑豊, 伊藤健吾, MULNIAD study group. 「顔」記憶検査を用いた Alzheimer 病に伴う記憶機能変化の検討. 第 32 回日本認知症学会学術集会, 2013 年 11 月 9 日, 松本
- 123) Kato T, Dementia imaging: A new trend toward amyloid imaging for diagnosis of dementia. The 12th Annual General Meeting of Asian Regional Cooperative Council for Nuclear Medicine (ARCCNM), Mumbai, Dec. 12, 2013
- 124) 加藤隆司, 藤原 謙, 岩田香織, 深谷直彦, 新畑 豊, 中村昭範, 伊藤健吾, MULNIAD Study Group, PiB PET における軽微な集積を判定するカットオフ値の検討. 第 78 回日本核医学会中部地方会, 2014 年 2 月 1 日 愛知県がんセンター, 名古屋市
- 125) 深谷直彦, 加藤隆司, 伊藤健吾, 市川敦子, 福井 淳, 土屋知紹, 松本大樹, 長屋重幸, 松本美津夫, 伊藤克也, 才賀 治, 猪岡由行, 阿部真治, 藤田尚利, 加藤克彦

- ，ドーパミントランスポーターイ  
メージングの技術的検討，第 78  
回日本核医学会中部地方会，  
2014 年 2 月 1 日 愛知県がんセ  
ンター，名古屋市
- 126) Shimada H, Makizako H, Doi T,  
Park H, Tsutsumimoto K,  
Suzuki T. Effects of  
Multicomponent Exercise in  
the Older Adults with Mild  
Cognitive Impairment. 2014  
Alzheimer's Association  
International Conference,  
Copenhagen, Denmark, July 14,  
2014.
- 127) Doi T, Shimada H, Park H,  
Makizako H, Tsutsumimoto K,  
Uemura K, Hotta R, Nakakubo  
S, Suzuki T. Slow gait, mild  
cognitive impairment and fall:  
obu study of health promotion  
for the elderly. 2014 ISPGR  
World Congress, Vancouver, BC,  
Canada, June 30, 2014.
- 128) 土井剛彦，島田裕之，牧迫飛雄馬，  
朴眩泰，堤本広大，鈴木隆雄．健  
忘型軽度認知障害高齢者に対す  
る複合的運動プログラムの効果  
検証．第 4 回日本認知症予防学会  
学術集会，東京，2014 年 9 月 26  
日．
- 129) 牧 迫 飛 雄 馬 ， Teresa  
Liu-Ambrose, 島田裕之，土井剛  
彦，朴眩泰，堤本広大，上村一貴，  
鈴木隆雄．軽度認知障害を有す  
る高齢者における身体活動，海馬  
容量，記憶の相互関連性．第 49  
回日本理学療法学術大会，横浜，  
2014 年 5 月 30 日．
- 130) 李相侖，島田裕之，朴眩泰，牧迫  
飛雄馬，阿南祐也，土井剛彦，吉  
田大輔，林悠太，波戸真之介，堤  
本広大，上村一貴，鈴木隆雄．要  
支援，要介護認定者を対象とした  
新しい IADL スケール開発の検  
討．第 49 回日本理学療法学術大  
会，横浜，2014 年 5 月 30 日．
- 131) 堀田亮，土井剛彦，島田裕之，牧  
迫飛雄馬，吉田大輔，上村一貴，  
堤本広大，阿南祐也，李相侖，朴  
眩泰，中窪翔，鈴木隆雄．地域在  
住高齢者における生活習慣と認  
知機能の関係．第 49 回日本理学  
療法学術大会，横浜，2014 年 5 月  
30 日．
- 132) 林悠太，波戸真之介，小林修，今  
田樹志，秋野徹，鈴川芽久美，島  
田裕之．要支援高齢者の重度化  
に関連する運動機能について－  
大規模集団での横断研究－．第  
49 回日本理学療法学術大会，横  
浜，2014 年 5 月 30 日．

- 133) 李成喆, 島田裕之, 朴眩泰, 李相侖, 吉田大輔, 土井剛彦, 上村一貴, 堤本広大, 阿南祐也, 伊藤忠, 原田和弘, 堀田亮, 裊成琉, 牧迫飛雄馬, 鈴木隆雄. 地域在住の高齢者を対象としたクレアチニンとうつ症状および認知機能との関連. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 134) 土井剛彦, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 朴眩泰, 吉田大輔, 堤本広大, 上村一貴, 阿南祐也, 鈴木隆雄. 軽度認知機能障害と運動機能低下は相互作用により転倒との関連性が強くなるのか? 一歩行解析と認知機能評価による検討一. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 135) 原田和弘, 島田裕之, 朴眩泰, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 李相侖, 吉田大輔, 堤本広大, 阿南祐也, 李成喆, 堀田亮, 裊成琉, 中窪翔, 上村一貴, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者における外出頻度と認知機能との関係 運動器機能による差異. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 136) 小林修, 林悠太, 鈴川芽久美, 波戸真之介, 今田樹志, 秋野徹, 島田裕之. 要支援・要介護高齢者における世帯構造と生活機能との関連. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 137) 朴眩泰, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 吉田大輔, 李相侖, 土井剛彦, 阿南祐也, 堤本広大, 原田和弘, 李成喆, 堀田亮, 裊成琉, 上村一貴, 中窪翔, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 虚弱高齢者の日常身体活動および行動特性と骨健康との関連性. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 138) 吉田大輔, 島田裕之, 朴眩泰, 阿南祐也, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 地域高齢者における血清 IGF1 と全身筋量との関連. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 139) 上村一貴, 東口大樹, 高橋秀平, 島田裕之, 内山靖. 軽度認知障害高齢者では注意負荷を伴うステップ反応動作において予測的姿勢調節の時間および潜在的エラーが増加する. 第 49 回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014 年 5 月 30 日.
- 140) 中窪翔, 土井剛彦, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 吉田大輔, 上村一貴, 堤本広大, 阿南祐也, 李相侖, 朴眩泰, 小野玲, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者における睡眠関連因子と歩行指標との関係. 第 49 回日

- 本理学療法学会大会，横浜，2014年5月31日。
- 141) 井平光，古名丈人，水本淳，牧野圭太郎，島田裕之，牧迫飛雄馬。75歳以上の地域在住高齢者における主観的な体力年齢と認知年齢に関連する要因。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年5月31日。
- 142) 波戸真之介，鈴木芽久美，林悠太，今田樹志，小林修，秋野徹，島田裕之。要支援から要介護状態への移行に影響を及ぼす運動機能の検討 1218名における2年間の追跡調査。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年5月31日。
- 143) 伊藤忠，島田裕之，吉田大輔，朴眩泰，阿南祐也，牧迫飛雄馬，久保晃，鈴木隆雄。高齢者における歩行効率と生活空間との関連。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年5月31日。
- 144) 堤本広大，土井剛彦，島田裕之，牧迫飛雄馬，吉田大輔，阿南祐也，上村一貴，堀田亮，中窪翔，朴眩泰，鈴木隆雄。自覚的疲労感と機能低下との関係—高齢期における年代別にみた特徴—。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年5月31日。
- 145) 島田裕之，朴眩泰，牧迫飛雄馬，土井剛彦，李相侖，吉田大輔，堤本広大，阿南祐也，李成喆，堀田亮，原田和弘，裴成琉，中窪翔，上村一貴，伊藤忠，鈴木隆雄。高齢者におけるうつ症状と認知機能 BDNF と脳萎縮との関係。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年6月1日。
- 146) 今田樹志，鈴木芽久美，波戸真之介，林悠太，小林修，秋野徹，島田裕之。公共交通機関を利用して外出できる要支援及び軽度要介護高齢者の心身機能の特徴。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年6月1日。
- 147) 裴成琉，島田裕之，朴眩泰，牧迫飛雄馬，土井剛彦，李相侖，吉田大輔，堤本広大，阿南祐也，李成喆，堀田亮，原田和弘，中窪翔，上村一貴，伊藤忠，鈴木隆雄。日本の高齢者におけるメタボリックシンドロームと認知機能との関係。第49回日本理学療法学会大会，横浜，2014年6月1日。
- 148) 安藤富士子，西田裕紀子，丹下智香子，大塚礼，下方浩史：地域在住高齢者における認知症発症予測のための健診項目の検討。第56回日本老年医学会学会集會，福岡，2014年6月12日。



- 149) 大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢男女における食品摂取と10年後の認知機能との関連。第56回日本老年医学会学術集会、福岡、2014年6月12日。
- 150) 内田育恵、杉浦彩子、西田裕紀子、丹下智香子、中島務、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：12年間の縦断データ解析による高齢期難聴の知的機能への影響。第56回日本老年医学会学術集会、福岡、2014年6月14日。
- 151) 下方浩史：特別講演。超高齢者医療の重要性。第59回日本透析医学会、神戸、2014年6月15日。
- 152) Shimokata H: Nutrition and Healthy Aging. Aging Dialog between Switzerland and Japan. Tokyo, June 30, 2014.
- 153) Ando F, Nishita Y, Tange C, Otsuka R, Shimokata H: Asymptomatic Cerebral White Matter Lesions Predict Future Cognitive Decline in Japanese Elderly. The 20th International Epidemiology Association World Congress of Epidemiology, Anchorage, Aug 19, 2014.
- 154) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：APOE 遺伝子型が知能の高齢変化に及ぼす影響。日本心理学会第78回大会、京都市、2014年9月10日。
- 155) 大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢者における牛乳摂取と13年間の脳萎縮進行の有無に関する検討。第73回日本公衆衛生学会総会、宇都宮、2014年11月7日。
- 156) 下方浩史：高齢社会と健康長寿～老いてこそ挑め。特別講演。第67回広島医学会総会。広島、2014年11月9日。
- 157) Kato T, Iwata K, Kuratsubo I, Fukuda K, Takeda A, Washimi Y, Bundo M, Ito K, Nakamura A, MULNIAD Study group. Magnetic resonance imaging of the Locus Coeruleus in young, non-demented older adults, MCI, and Alzheimer's disease. Alzheimer's Association International Conference 2014, July 12-17 (12), 2014, Bella Center, Copenhagen, Denmark
- 158) Nakamura A, Kato T,

- Yamagishi M, Iwata K, Kato K, Bundo M, Hattori H, Sakurai T, Arahata Y, Maess B, Ito K, MULNIAD study group. Correlation between cortical excitability and local amyloid  $\beta$  deposition as evaluated by MEG and PiB-PET. Alzheimer's Association International Conference 2014, July 12-17 (16), 2014, Bella Center, Copenhagen, Denmark
- 159) Bundo M, Kato T, Nakamura A, Ito K. Influence of A $\beta$  deposition on clinical manifestations of idiopathic normal pressure hydrocephalus. hydrocephalus 2014, Sep 7, 2014, Bristol, UK
- 160) Kato T, Fujiwara K, Iwata K, Inui Y, Ito K, Nakamura A, and MULNIAD Study Group. Brain atlas-based mean cortical SUVR for evaluation of positive/negative scan of PiB PET. The 13th Annual General Meeting of Asian Regional Cooperative Council for Nuclear Medicine (ARCCNM), Nov. 6, 2014, Osaka
- 161) Inui Y, Ito K, Fujiwara K, Kato T, SEAD-J Study Group. Evaluation of the predictive value for the conversion of mild cognitive impairment to Alzheimer's disease by  $^{18}\text{F}$ -FDG PET and MRI: A multicenter study "SEAD-J". The 13th Annual General Meeting of Asian Regional Cooperative Council for Nuclear Medicine (ARCCNM), Nov. 6, 2014, Osaka
- 162) Kato T, Iwata K, Fujiwara K, Fukaya N, Inui Y, Ito K, Nakamura A, MULNIAD, Longitudinal change of PiB accumulation with one year interval in Alzheimer's disease, amnesic cognitive impairment, and cognitively normal subjects. 9th Human Amyloid Imaging, January 15, 2015, Miami, Florida, United States
- 163) Kato T, Iwata K, Fujiwara K, Fukaya N, Inui Y, Ito K, Nakamura A, MULNIAD. Estimated sample sizes for

- detecting a one-year change of mean cortical SUVR of PiB PET, Japan-China Nuclear Medicine Symposium in Okinawa, March 14, 2015, Naha.
- 164) 伊藤健吾. 認知症 PET (FDG とアミロイド)に関わる臨床研究の進捗と合成装置の薬事承認・保険適用に向けての戦略日本脳神経核医学研究会脳PETワークショップ, 2014年4月10日, 横浜
- 165) 中村昭範, 加藤隆司, 山岸未沙子, 岩田香織, 文堂昌彦, 服部英幸, 桜井孝, 新畑豊, 伊藤健吾, MULNIAD study group. 局所 amyloid- $\beta$  蓄積と大脳皮質興奮性の変化:MEG と PiB-PET 併用による検討. 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014年5月23日, 福岡
- 166) 倉坪和泉・加藤隆司・加藤公子・山岸未沙子・岩田香織・新畑豊・伊藤健吾・中村昭範. 高齢者の認知機能に影響すると予想される諸要因の検討. 第38回日本神経心理学学会学術集会, 2014年9月26日, 山形
- 167) 藤原謙, 加藤隆司, 乾好貴, 伊藤健吾. サポートベクターマシンを用いた FDG PET とアミロイドマーカによる MCI から AD への移行予測に関する検討. 第 54 回日本核医学会学術総会, 2014年11月6日-8日, 大阪
- 168) 乾好貴, 伊藤健吾, 藤原謙, 加藤隆司, Study Group SEAD-J, FDG-PET および MRI による aMCI から AD への移行予測診断能の検討: SEAD-Japan 5 年間の追跡調査から, 第 54 回日本核医学会学術総会, 2014年11月7日, 大阪
- 169) 藤原謙, 加藤隆司, 乾好貴, 伊藤健. FDG-PET, MRI 画像および神経心理データを用いた MCI の進行予測に関する検討. 第 33 回日本認知症学会学術集会, 2014年11月29日-12月1日, 横浜
- 170) 倉坪和泉, 加藤隆司, 加藤公子, 山岸未沙子, 岩田香織, 堀部賢太郎, 新畑豊, 伊藤健吾, 中村昭範, MULNIAD study group. 高齢者の認知機能に影響する要因の検討. 第 33 回日本認知症学会学術集会, 2014年11月29日-12月1

日, 横浜

会館, 名古屋

171) 乾好貴, 伊藤健吾, 藤原謙, 加藤隆司, Study Group SEAD-J, FDG-PET および MRI による amnestic MCI から AD への移行予測診断能の検討: SEAD-Japan 5 年間の追跡調査, 第 33 回日本認知症学会学術集会, 2014 年 11 月 29 日 - 12 月 1 日, 横浜

172) 加藤隆司, 岩田香織, 倉坪和泉, 福田耕嗣, 武田章敬, 鷺見幸彦, 文堂昌彦, 伊藤健吾, 中村昭範, MULNIAD study group. 青斑核の MRI イメージング: 加齢性およびアミロイド関連性変化の検討. 第 33 回日本認知症学会学術集会, 2014 年 11 月 29 日, 横浜

173) 加藤隆司, 岩田香織, 藤原謙, 深谷直彦, 乾好貴, 伊藤健吾, 中村昭範, MULNIAD, PiB PET 皮質平均 SUVR 値の縦断的变化検出に関する検討. 日本核医学会第 80 回中部地方会, 2015 年 1 月 31 日, 名古屋大学医学部鶴友

174) 乾好貴, 加藤隆司, 深谷直彦, 櫻井孝, 鷺見幸彦, 新畑豊, 武田章敬, 服部英幸, 遠藤英俊, 伊藤健吾, Probable DLB に対する DAT イメージングの初期的検討. 日本核医学会第 80 回中部地方会, 2015 年 1 月 31 日, 名古屋大学医学部鶴友会館, 名古屋

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし